

平成21年度事業報告書

1 文化関係事業

文化関係事業とは、これまで人々が積み上げてきた文化、過去、歴史を再確認し、人々がより良い未来を夢見、その実現に向かおうとする気持ちを抱かせるきっかけにしたい。

(1) 親子文化劇場の開催

親子文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、親子で優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会にしたい。

<第17回親子文化劇場>

開催日	平成21年8月6日(木)
場所	舞鶴市総合文化会館
共催者	舞鶴子ども育成支援協会
出演者	すわらじ劇園
演目	王様の耳はロバの耳 予定
来場者数	約1600人
来場対象者	幼児・小学生・父兄など
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の公民館と図書館及び、子育て支援センターに、ポスターとチラシと入場整理券を配布する。 商業施設のインフォメーションボードにポスターを貼る。

(2) 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。今年度も小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイディアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示した。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

<第13回小学校生活文化向上作品展の開催>

開催日	平成21年9月19日(土)～9月20日(日)
場所	駅前の大型商業施設「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	46点
出品対象者	舞鶴市内の小学校児童
出品作品募集方法	舞鶴市小学校教育研究会・舞鶴市内の小学校の協力を得て、科学作品展に出品されている作品から、選定する。
出品作品選定方法	小学校の科学作品展に行き、選ぶ。
選定委員	(財)舞鶴文化教育財団理事長 (財)舞鶴文化教育財団理事
テーマ	科学研究や生活文化の向上に、アイディアや努力を持って、取り組む姿勢。
来場者人数	約1500人

来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の小学校校長先生及び選出された保護者に案内文を送付する。

(3) 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

<第11回小学生書初め展>

開催日	平成20年1月11日(月)
場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	64点
出品対象者	舞鶴市立明倫小学校6年生児童
出品作品募集方法	舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立明倫小学校に依頼した。
出品作品選定方法	選定するのではなく、学年全体で出品してもらう。
テーマ	新年らしい言葉
来場者数	約580人
来場対象者	小学生からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	作品を出品してもらっている小学校に文書で案内する。
記念品	出品してくれた児童に出す。

(4) 体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。チームで活動することにより、相手を思いやる気持ちを育てる。

<健康体操教室の開催>

指導員	日本健康体操連盟健康体操指導士
開催日	毎月5回(各老人ホームで月1回実施する)
場所	特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス 特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑と老人マンション 舞鶴市立安岡宛

参加人数 各教室で約10名

<チアリーディング教室の開催>

指導員	(社)日本チアリーディング協会認定指導者 Class II 資格者
開催日	毎月2回
場所	学校法人京都荒巻学園みつる幼稚園
参加人数	年長児 約40名

(5) 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。今までの事業としては、

① 神崎ホフマン窯保存活用事業

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけであり、神崎ホフマン窯は国の登録文化財

に登録されており、また、数年前「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として、認定された。この様に全国的にも貴重な近代化遺産、神崎ホフマン窯を保存し、後世に引き継いでいきたい。

今後の課題として、

- (1) 現在、専門業者に依頼して、窯の構造と現時点での破損状態等の調査を実施しているが、調査が終了すれば修復方法などを関係機関と相談したい。
- (2) 神崎ホフマン窯の周辺環境・交通の便利性など、総合的に考慮する必要があるため、国・京都府・舞鶴市などの関係諸機関と協議する。

<当期の活動状況>

神崎煉瓦ホフマン輪窯調査の実施

2 国際交流関係事業

(1) 発展途上国への学校設立基金助成

発展途上国への学校設立基金助成とは、理事会のなかで、国際化時代に即して発展途上国への教育助成を行ってはどうかという意見が、以前から出されていた。そんな中で国際交流関係事業を通して「特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MDSA)」との出会いがあった。MDSAでは、舞鶴市や綾部市の市民も活動に参加していて、ネパール・ムスタンの現状を知ることになった。学校・附属施設設立及び増改築に関して援助を行っている。

<当期の活動状況>

助成金対象先 特定非営利活動法人ネパール・ムスタン地域開発協力会(MDSA)

助成先選定方法 理事会にて決定

今年度はネパール現地の都合で、昨年度助成した建築が完成していないので、実施していない。

3 教育関係事業

教育関係事業とは、当財団が主催するパソコン教室やチアリーディングチームの養成を通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

(1) パソコン教室

<当期の活動状況>

申し込み者がなく、実施していない。パソコンのOSも古く、今後実施していくことには問題が残る。

(2) チアリーディング活動

チアリーディング活動とは、「笑顔・元気・相手を思いやる」チアスピリッツを通して、生徒・児童の心身の健全な発達に寄与し、イベント等に出演して応援することにより、地域社会に貢献する。

メンバーの対象 幼児・児童・生徒

チーム名 「チェリーズ」

クラス

①ミニチェリーズ

②チェリーズAから秋以降にチェリーズ中学生Cができる

③チェリーズB

指導員 (社) 日本チアリーディング協会認定指導者 Class II 資格者

費用	月額	ミニチェリーズ	2000円
		チェリーズA・B・C	3000円

<当期の活動状況>

練習	毎週火曜日	午後3時45分から午後5時まで
	毎週火曜日	午後5時15分から午後8時まで
	毎週水曜日又は木曜日	午後5時15分から午後8時30分まで
	隔週土曜日	午前9時から午前12時まで
	(イベント前は毎週土曜日に練習する)	
場所	舞鶴東体育館・舞鶴文化公園体育館・舞鶴市立倉梯第二小学校・東公民館 舞鶴総合文化会館小ホールなど	
1年間開催回数	約	250回
延べ参加人数	約	5600人

競技参加

平成22年3月21日 第16回西日本チアリーディング選手権大会ジュニアスター
チェリーズA・B・Cチーム出場
技能賞・グッドスマイル賞

公演活動

平成21年7月5日	海上保安学校五森祭で海上保安学校音楽隊と共演する
	参加チーム チェリーズA・B
	参加者 37人
	来場者数 約260人
平成21年8月6日	第17回親子文化劇場のオープニングに出演する
	参加チーム ミニチェリーズ・チェリーズA・B
	参加者 41人
	来場者数 約1600人
平成21年8月16日	第38回市長旗チビッコソフトボール大会のオープニングに発表する
	参加チーム チェリーズA・チェリーズBの選抜
	参加者 23人
	来場者数 約500人
平成20年11月23日	東地区ふれあいサンデーに出演する
	参加チーム チェリーズ中学生C
	参加人数 4人
	来場者数 100人

4 学校教育助成

学校教育助成とは、各学校及び施設の資金は、十分に管理・運営されているが、より一層充実し、教育に貢献したいと努力している教育関係の個人及び団体に対し、資金援助を行う。

(1) 教育研究の助成

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専

門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

助成先の選定方法

応募者は定められた書式により、書類を提出する。

選定委員は理事会で選出し、選定委員2名と当財団理事長で協議して決定する。

助成先の募集方法

各校長会に出席して、説明し、応募書類を配布する。

助成金額

1研究につき、30万円以下とする。

<当期の活動状況>

該当先なし

- (2)舞鶴市中学校英語祭助成とは、主催は舞鶴市中学校研究会で、舞鶴市教育委員会と共催で実施している。舞鶴市内8中学校の各学年代表による、英語・スピーチコンテストを実施することにより、国際化時代に対応する英語力の育成を図る。

<第25回舞鶴市中学校英語祭(OEF)>

開催日

平成21年11月21日(土)

場所

舞鶴市中総合会館4階ホール

主催

舞鶴市中学校教育研究会

共催

舞鶴市教育委員会・舞鶴文化教育財団

対象者

舞鶴市内の中学校8校

応募者数

8校23名

入賞者数

6校8名

入賞選定委員

舞鶴市立白糸中学校教諭

舞鶴市立城南中学校教諭

他 ALT3名

選定基準

声の大きさ・発音・スピーチの内容・発表態度

商品

入賞商品 楯 6名

参加賞 30名(参加者と受付などスタッフ)

- (2) 南丹市・舞鶴市小学校交流事業

南丹市・舞鶴市小学校交流事業とは、一級河川である由良川の起点である南丹市の知井小学校と、終点で海に面した舞鶴市の八雲小学校との交流である。由良川と人間の関わり、由良川及び近隣の生物・植物の生態の環境などを調べ、交流している。また、学校訪問を実施し、全体交流と学年ごとの学習発表やリクレーション、各所の見学などを行っている。

<由良川で結ぶ小学生交流会>

開催日

平成21年11月12日(木)

対象者

知井小学校3・4年生と八雲小学校3・4年生

今年度は八雲小学校の3・4年生が知井小学校を訪問する予定で計画が進んでいたが、インフルエンザの流行のため、直前で中止となる。

舞鶴市立八雲小学校の合併のため、交流事業は、今年度で終了となる。

- (3) 海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上

交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を実施している。

＜海上保安学校に図書・教材・楽器を寄贈する＞

寄贈品 図書・DVD教材・楽器・楽器修理費用(平成22年2月中旬に搬入済み)

5 文化・教育団体へ助成

(1) チッピコソフトボール大会への助成

チッピコソフトボール大会への助成とは、主催は舞鶴市PTA連絡協議会・社団法人舞鶴青年会議所で、地域における協働・連携の推進・青少年健全育成を目的に開催されている。舞鶴市内の小学生が、各町内を代表して1つの小学校から1～2チーム出場し、トーナメント形式で勝敗を決める。同時に絵画も募集し、大会当日優秀作品も展示されている。大会運営費や記念品を贈呈している。

＜第38回市長旗チッピコソフトボール大会＞

開催日 平成21年8月16日(日)

場所 東舞鶴運動公園陸上競技場

援助 チッピコソフトボール大会の運営費・ポスターコンクールの記念品等

参加チーム 32チーム

優勝チーム A・B・C・Dゾーン各1チーム

来場者数 約500人

(2) 体育協会その他団体へ助成

体育協会その他団体への助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

＜当期の活動状況＞

市内の華道七流派で作る舞鶴華道連盟にガラスの展示ケースを助成した。

舞鶴市の西の玄関口、JR西舞鶴駅2階ロビーに生け花展示ケースを設置して、華道連盟に加盟している内の五流派(池坊・嵯峨御流・京都未生流・未生流中山文甫会・草月流)が月ごとに担当して、絶えず花が生けてある状態にするということである。

伝統的な日本の文化を守ると同時に、多くの人々に鑑賞してもらい、華やかさと癒しを感じてもらいたい。